★　各種相談窓口

●購入した製品の具体的な使い方については取扱説明書などに記載されている連絡先へご連絡ください
　✓各製品の開発元/販売元
　✓電話番号　各製品の取扱説明書などに記載されています

●コンピュータウイルスに感染してしまったと思ったらこちらにご相談ください
　✓IPA(アイピーエー)(情報処理推進機構)セキュリティセンター　安心相談窓口
　✓電話番号　03-5978-7509 (平日10:00～12:00 および 13:30～17:00)

●広告や宣伝目的の迷惑メールに困っている時はこちらへご連絡ください
　✓財団法人日本データ通信協会　迷惑メール相談センター
　✓電話番号　03-5974-0068(平日10：00～17：00)(祝祭日は除く)

●犯罪に係る相談や情報提供を電話で受け付けています
　✓各都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口
　✓電話番号　各都道府県警察にお問い合わせください

★　(参考)パソコンなどの機器ごとに利用できる機能

機器		パソコン	デジタルテレビ	スマートフォン	ゲーム機器
利用できる機能	インターネット ネットショッピング 電子メール	○	○	○	○
	テレビ電話	○		○	
	ゲーム	○		○	○
	テレビ	○	○	○	

インターネットを安全に利用するための
情報セキュリティ対策9カ条

インターネットの利用は生活の幅を広げるだけでなく、
災害時には自分の命を支える手段にもなります。
情報セキュリティを正しく学ぶことで、
安全・快適にインターネットを使いましょう。

内閣官房情報セキュリティセンター

★　インターネットの利用は、日常生活の幅や人との触れ合いを拡げることができます！

　インターネットの利用は、自宅に居ながらにしてネットショッピングができたり、人とコミュニケーションしたり、欲しい情報を収集することが可能です。

★　災害時には自分の命を支えてくれます！

　先の震災時には、携帯電話やスマートフォンなどの携帯通信端末を所有していた人は、停電などによりテレビが使えなくても、インターネットなどを利用して情報を収集できました。このため、避難場所の情報や支援物資の配給場所などを把握したり、安否確認などのコミュニケーションツールとして有益であったため、災害には自分の命を支える手段になることが示されました。

　このハンドブックでは、安全にインターネットを利用して便利な生活を送るための、最低限やっておくべき９カ条をまとめています。

　９カ条を実践して、便利で快適なインターネットライフを充実させましょう！

インターネットを安全に利用するための
情報セキュリティ対策　9カ条

1. 利用環境の設定
2. パスワードの設定
3. セキュリティの更新
4. 紛失したら困る重要情報の取り扱い
5. 金融財産情報の取り扱い
6. デジタルコンテンツの入手・視聴
7. 電子メール利用時
8. 自宅外利用時
9. トラブル発生時

ウイルス対策ソフトを導入しよう

わたしたちの世界に風邪のウイルスが存在するように、コンピュータの世界にもコンピュータに悪さをするウイルスが存在します。

ウイルスに感染しないように、コンピュータにウイルス対策ソフトを導入しましょう。（ウイルス対策ソフトは家電量販店などで入手できます）

パスワードは貴重品のように管理しよう

パソコンやスマートフォンの起動画面にパスワードを設定しておくことは、自宅に鍵をかけるのと同じように大切なことです。

パスワードは他人に知られないようにする必要があります。メモに残さざるを得ない場合、人の目に触れない場所に保管しましょう。

大切な情報は失う前に複製しよう

家族や友人と一緒に撮影した写真など、思い出がつまった情報は、パソコンの故障などにより失われてしまうと、取り返しがつきません。

大切な情報は、USB（ユーエスビー）メモリなどに複製して、保管しておきましょう。

ネットショッピングでは信頼できるお店を選ぼう

ネットショッピングでは、品物だけでなく、見たい映画や聴きたい音楽も購入することができます。

ネットショッピングをするときは、詐欺などの被害に遭わないように、信頼できるお店から買うようにしましょう。身近な人からお勧めのお店を教わるのも安心です。

困ったときはひとりで悩まず　まず相談

インターネット利用に関する被害相談として、詐欺や架空請求の電子メールが届く、開いているウェブページをどうしても閉じることができないというような相談が増えています。

このような症状が見られたら、一人で悩まず、症状に応じ相談窓口(背表紙参照)に相談しましょう。

外出先では　紛失・盗難に注意しよう

大切な情報を保存しているパソコン、スマートフォンや、USBメモリなどを自宅の外に持ち出すときは、機器やファイルにパスワードを設定し、貴重品を扱うのと同様、なくしたり盗まれないように注意して持ち歩きましょう。

OS（オーエス）やソフトウェアは常に最新の状態にしておこう

パソコンやスマートフォンは、新たに発生するコンピュータウイルスの攻撃に対抗できるよう、頻繁に製造元が改良を加えています。

製造元から無料で配布される最新の改良プログラムを入手して、コンピュータウイルスの攻撃に対抗できる強い環境を手に入れましょう。

ログインID（アイディー）・パスワード絶対教えない用心深さ

金融機関を名乗り、銀行口座番号や暗証番号、ログインIDやパスワード、クレジットカード情報の入力を促すようなメールが届いた場合、教える必要はありません。

身に覚えのないメールは返信せずに無視するなど、安易に教えないよう注意しましょう。

身に覚えのない添付ファイルは　開かない

身に覚えのない電子メールには、コンピュータウイルスが潜んでいる可能性があります。

ウイルス感染を防ぐために、身に覚えのない電子メールに添付されたファイルは開かないようにしましょう。